第21回SGRAカフェ

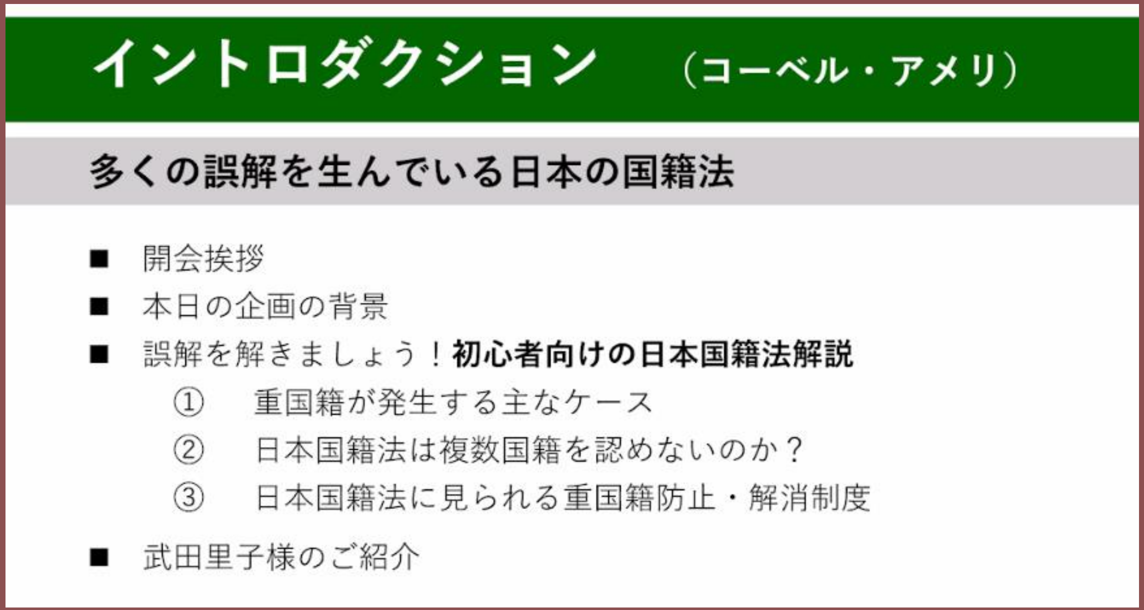
日本社会における二重国籍の実態
複数国籍保持者に対するスティグマ付与と当事者らの実践

2024年2月17日（土）14：00～16：30
於・渥美国際交流財団ホール及びオンライン（Zoom）

当日の写真

イントロダクション
「多くの誤解を生んでいる日本の国籍法」

コーベル・アメリ（獨協大学特任講師）



国籍問題との出会い

- 台湾と韓国で出会った日本人女性たちからの問題提起―「子どもたちをグレーゾーンにおいて置きたくない」
- 日露「ハーフ」の国籍はく奪問題、国籍法11条1項違憲訴訟原告団との交流→「失われた30年」の隘路を抜ける大切なカギのひとつ
- 資料
  - 「ロシアのウクライナ侵攻と日露家族」（校了一歩前）
  - 複数国籍学習会　https://sites.google.com/view/satokot
  - 国籍はく奪条項違憲訴訟　http://yumejitsu.net

武田里子（複数国籍学習会世話人）satokot208@gmail.com

基調講演
「日本社会における複数国籍の実態
―放置主義から摘発強化への政策転換」
武田 里子
（大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター客員研究員）

話題提供（３名）

「日本における国籍と社会福祉及びソーシャルワーク」
ヴィラーグ・ヴィクトル（日本社会事業大学准教授）

「国際－国家、そして家族史における国籍」
金 崇培（国立釜慶大学助教授）

「日本と中国の間で起きている国籍問題」
高 偉俊（北九州市立大学国際環境工学部教授）

会場とオンラインとに分かれ、
６～７名でグループになりフリーディスカッションタイム。
最後に各グループで話し合った内容を発表していただきました。

オンラインと会場参加を併せて
約60名の方々にご参加いただきました。
皆さま、ありがとうございました。